

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	乳がん術前術後化学療法施行時の骨髄抑制発生リスク因子探索及びG-CSF(顆粒球コロニー刺激因子)適正使用条件に関する調査。
研究責任者 (所属科名)	古谷 智裕 (広島市立安佐市民病院薬剤部)
本研究の目的・意義	顆粒球コロニー刺激因子の適正使用を行うために、AC および FEC 療法施行時の骨髄抑制発生リスク因子を探索します。
調査方法・調査期間	・ 調査方法：後方視的に調査を行います。 ・ 調査期間：2017年8月(倫理審査委員会承認後)～2017年11月30日
該当資料・データ	・ 対象：2016年1月15日から2017年3月24日の間に当院においてFEC療法または、AC療法が開始となった患者様。 ・ 研究に使用するデータの種類：当院電子カルテ内にある診療記録から、骨髄抑制に関する検査値、副作用発生状況、治療スケジュールの遅延状況、顆粒球コロニー刺激因子使用状況などを調査します。
個人情報の取り扱い	この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者様を特定できないようにしたうえで使用します。また、患者様を特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。
共同研究機関	無し。当院のみでの研究になります。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：082-815-5211 (内線) 3461 (平日 8:30～17:15) 代表者：薬剤部 古谷 智裕
備考	